

(等級区分)

随時2級・随時3級・**基礎級** 技能検定受検申請書
必ず受検する級を○で囲んでください。

技能検定を受けたいので申請します。
岡山県知事殿 西暦 2020 年 10 月 1 日

受検申請書は、「申請書記入上の注意」をよく読んで記入してください。

職種名	機械加工	作業名	普通旋盤	作業	受検番号	※
受検区分	A甲	A乙	B	A丙	C	

●受検者情報

フリガナ	グエン ティ シェン	生年月日	西暦 1998 年 1 月 25 日
氏名	NGUYEN THI XEN	(年齢)	(満 22 歳)
住所	〒 700-0824 岡山市北区内山下2丁目3-10 技能寮A101	性別	男 女
TEL	086-225-1546	国籍	ベトナム
事業所名	岡山機械製作所	地位職名	技能実習生
所在地	岡山市北区内山下2丁目3-10	職務内容(実習内容)	工作機械による
電話	TEL 086-225-1547	その他	部品加工・製造
		在職期間	2020年5月～
		現在在籍まで	有 無

●受検に必要な情報

合格状況	合格した級	職種名・作業名	技能士番号	合格年月日(和暦)	判定
	随時3級	職種名	S・H・R	年	※
	基礎級	作業名		月 日	
免除項目	免除種別	免除する級	職種名・作業名	合格通知番号	合格年月日(和暦)
	学科試験	随時2級	職種名 機械加工	岡20基	S・H・R 2年
	実技試験	随時3級	作業名 普通旋盤	学0001	5月1日
		基礎級			

●試験実施に必要な情報

試験会場	会場名	所在地	受検者総数
	岡山工作所 岡山工場	岡山市北区内山下2丁目4-6 第3加工棟内	2名
監理団体	団体名	所在地・電話・担当者名	
	岡山技能協同組合	〒703-8278 岡山市中区古京町1丁目7-36 担当者名(注) 技能 一男 TEL(注) 086-1234-5678	

(注)の欄は、試験当日連絡がとれる情報を記入すること。



1 は
2 氏
く、

小して

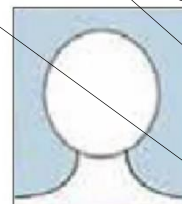
写真票(受検票)

管理番号	国籍	試験日
1234	ベトナム	西暦2020年 11月 11日(水)
試験会場		
会場名	岡山工作所 岡山工場	
所在地	岡山市北区内山下2丁目4-6 第3加工棟内	
TEL	086-225-1546	

○は該当するものを○で囲んでください。

等級区分	随時2級	随時3級	基礎級
職種名	機械加工		
作業名	普通旋盤 作業		
受検番号	※		
受検区分	A甲	A乙	A丙
	B	C	
	※申請書に合わせることを。		
フリガナ	グエン ティ シェン		
氏名	NGUYEN THI XEN		
生年月日	西暦 1998 年 1 月 25 日		
住所	〒 700-0824 岡山市北区内山下2丁目3-10 技能寮A101		
事業所名	岡山機械製作所		
事業所所在地・電話	〒 700-0824 岡山市北区内山下2丁目3-10 技能寮A101		
担当者名	担当者名(注) 岡山 太郎 TEL(注) 086-225-1547		
監理団体名	岡山技能協同組合		
監理団体所在地・電話	〒 703-8278 岡山市中区古京町1丁目7-36 担当者名(注) 技能 一男 TEL(注) 080-1234-5678		

(注)の欄は、試験当日連絡がとれる情報を記入すること。



協会から通知があった管理番号を必ず記入すること。

受検する内容が外国人技能実習機構へ申請した「受検希望科目」と同一であること。

在留カードに記載されている氏名と必ず同一表記とし、アルファベットやスペースについて正確に記載すること。

在留カードに記載されている生年月日と必ず同一であること。

技能実習生以外の場合は、「その他」を選択すること。
例：建設就労者等

職務内容(実習内容)を記入すること。

職歴(直近)の在職期間を記入すること。

技能実習生の所属事業所において、技能検定の随時試験について、過去に受検した経験の有無を記入すること。

受検級によって次の通り記入する内容が異なるので注意すること。また、再試験の場合でも必ず情報を記入することとし、合格したことが分かる書類を必ず提出すること。

基礎級の場合 ⇒ 記入・書類は不要
随時3級の場合 ⇒ 基礎級の合格状況を記入し、基礎級技能検定合格証書の写しを添付すること。

随時2級の場合 ⇒ 随時3級の合格状況(実技試験一部合格を含む)を記入し、随時3級技能検定合格証書の写し又は実技試験一部合格の通知書の写しを添付すること。

受検区分「B」又は「C」で申請する場合は必ず記入すること。また、再試験の場合でも必ず情報を正しく記入すること。なお、合格したことが分かる免除書類を必ず申請書に添付することとし、免除書類の添付がない場合は、学科又は実技試験は免除とはならないので注意すること。

同一試験日で同一級・同一作業の受検者総数を記入すること。

試験会場の所在地は正しく記入し、外国人技能実習機構へ申請した「受検地」と異なる場合は、協会へ速やかに連絡すること。